



# 小国中だより

小国町立小国中学校  
令和3年1月25日  
文責 八木幸夫

## 新型コロナ対策ポスター第2段

小国中生徒会では新型コロナウイルス感染防止への意識を高め、あわせて医療従事者など新型コロナ対応に力を尽くしてくださっている方々への感謝、差別、偏見防止のための具体的な行動として、年末年始休業中に新型コロナポスター第2弾の制作に全校生が取り組みました。

現在町内の様々な施設に掲示していただくよう準備を進めています。職場に掲示いただくよう、お子さんを通じて保護者の皆様にもお願いすることもあろうかと思えます。その際は、ポスター掲示の依頼状とポスターを職場の担当者の方にお渡しいただきますようお願いいたします。小国町の一員として自分達のできることで地域に貢献しようという思いを込めた活動です。趣旨をご理解いただきご協力をいただきますようお願いいたします。



私も小国警察署に掲示の依頼に出向きました。階段の踊り場の掲示板に、昨年5月に第1弾の取り組みとしてお願いしたポスターが、きれいに掲示さ

+1 されていました。制作者の名前を入れていただき、ラミネーターで補強していただき掲示していただいていたました。生徒が大事にされているようで嬉しくなりました。

## 3年生の入試たけなわですが・・・、2年生も・・・。

3年生が入試真っ只中ですが、山形県教育委員会から、現2年生が受検することになる、令和4年度の公立高校入学者選抜の日程がすでに通知されています。中学生にとって、高校入試は避けては通れない試練です。3年生になってから慌てることのないよう、1、2年生のうちから、自分の進路を真剣に考え、実力を蓄えることが大切です。今の学習や生活が自分の進路につながっていることを忘れてはなりません。

3学期、2年生は高校調べ、進路学習会・立志式など、1年生も職業講話など進路について考える学習が計画されています。それぞれの学習のねらいを意識し、自分の将来を考える学習にしっかりと取り組んで欲しいと思います。

### 令和4年度山形県公立高等学校 入学者選抜に係る日程

#### 【推薦入学者選抜日程】

#### 【連携型入学者選抜選日程】

#### ○願書受付

令和4年1月21日～27日

#### ○面接等

令和4年2月4日

#### ○選抜結果通知

令和4年2月14日

#### 【一般入学者選抜選日程】

#### ○願書受付

令和4年2月18日～25日

#### ○学力検査

令和4年3月10日

#### ○選抜結果通知

令和4年3月17日

# 『友 ～旅立ちの時～』 作詞 北川悠仁



友 今君が見上げる空は  
どんな色に見えていますか  
友 僕たちに来ることは  
限りあるかもしれないけれど

確かな答えなんて  
何一つない旅さ  
心揺れて迷う時も  
ためら合う気持ちそれでも  
支えてくれる声  
気付けば いつもそばに

友 進むべき道の先に  
どんなことが待っている  
友 この歌を思い出して  
僕らを繋ぐこの歌を

明日の行方なんて  
誰にもわからないさ  
風に揺れる花のように  
確かめ合えたあの日の  
約束胸に信じて

未来へ歩いてゆくよ  
Wow 遠く 遠く  
Wow 終わらない夢  
Wow 強く 強く  
Wow 新たな日々へ旅立つ時

友 さようなら  
そしてありがとう  
再び合えるその時まで  
友 僕たちが見上げる空は  
どこまでも続き輝いている  
同じ空の下  
どこかで僕たちは  
いつも繋がっている

この楽曲は2011年の東日本大震災を受けて、被災地の方へ向けて生み出されました。その後、第80回NHK全国音楽コンクール・中学校の部課題曲にこの楽曲が決まったのです。課題曲として中学生へ勇気を与えたいという想いをのせて、さらにアレンジを加えたのがこの楽曲です。約2年の歳月を経てこの歌は出来上がっています。それだけたくさんの人の想いが詰まった曲なのです。

東日本大震災では、多くの人々が被災し、生活が激変し、人生の岐路に立たされた人も多くいました。こんな状況の中で、前に進んでこられた原動力はなんだったのでしょうか。支えてくれる人々がいたからなのでしょう。支えるということは、何か明確な道を示すことだけではありません。葛藤し苦しんでいる姿をそのまま、見守っていてくれる存在。そんな人々がたくさんいたのではないかと思います。

中学時代は様々なことに迷い悩む時代です。そんな葛藤を通して成長していく時代です。そんな若者達の姿を、震災から立ち上がろうとする人たちの姿に重ねて、自らを支え合ってきた友に感謝し、未来へ力強く踏み出す決意を歌に込めています。

新型コロナウイルスは私たちに生活を激変させました。長期にわたる休校、各種大会の中止、活動制限……。しかし、我慢を強いられる生活の中でも、小国中生は3年生を先頭に、今できることに精一杯取り組んできました。

この曲に込められた思いを胸に、小国中学校3年生の最後の合唱に期待したい。